

皆さん、はじめまして。

今般、駐ナミビア共和国日本国大使として赴任いたしました西牧久雄と申します。ナミビアへの着任は5月初旬でしたが、ガインゴブ大統領への信任状捧呈式は7月28日に行われました。この式典を経て、ようやく日本国大使としての正式の活動が可能となりました。

私は、これまで海外ではトルコ、豪州、パキスタン、米国で勤務し、今回が初のアフリカ勤務となります。これまでの経験を生かしつつ、新たな気持ちでナミビアにおいて勤務する所存です。

ナミビア共和国に日本国大使館が設立されたのは2015年です。それまでナミビアはお隣の南アフリカに駐筈(ちゅうさつ)する日本国大使が兼轄していました。初代の坂本秀之大使に続き、私で3代目の日本国大使となります。

ナミビア共和国は1990年に南アフリカからの独立を果たした比較的新しい独立国のひとつです。世界的にはチーター、サイ、象などの野生動物、世界最古の砂漠として知られる赤いナミブ砂漠、さらにはグラントキャニオンに次ぐ巨大な渓谷でも知られています。しかしながら、ナミビアから日本には伊勢エビ、カニ、マグロなどを輸出している他、ウラン、銅、亜鉛などのエネルギー・鉱物資源、さらには電池などに使用されるレアアースも輸出していることは、日本ではあまり知られていません。

上記信任状捧呈式においてガインゴブ大統領からは「ナミビアと日本の良好な二国間関係を踏まえてご活躍頂きたい。これまでの日本からの様々な援助に感謝する。貴使の任期中に、両国間のさらなる緊密化を期待する」旨のお言葉をいただきました。まさに同大統領のお言葉のように、これまでの良好な二国間関係を更に発展させるべく、微力ながら尽力させて頂く所存です。

皆さまの引き続きのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和4年8月1日
駐ナミビア共和国特命全権大使
西牧 久雄